

人を育み 夢を育む 未来につながるまち ふっさ

# 福生の教育



福生市公式キャラクター たっけー☆☆

—編集 発行—

福生市教育委員会  
教育部 教育総務課

〒197-8501  
福生市本町5番地  
042-551-1511  
(市役所代表)

主な記事 ○就学時健康診断を実施します ○福生の中学生、部活動も活躍しています! ○成人式の開催について

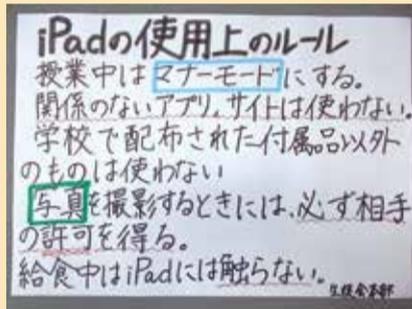
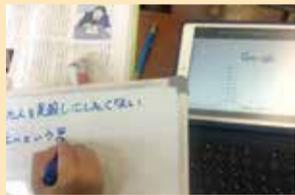
## iPadを活用しています!

—中校区

福生市では全ての子どもたちに1人1台のiPadを配布しています。子どもたちの学びの様子をこれから3回シリーズで紹介します。



道徳科の授業



生徒会が中心となって決めた iPad のルール

### 福生一中

iPad が配布された1月以降、授業中や普段の学校生活の中で、iPad をどのように使うか、ルール作りが課題でした。一中では生徒会が中心となって、生徒が何度も話し合っ てルールを決めました。教室にはこのようにルールを掲示しています。

理科や保健体育などの実技を伴う教科では、実験の様子や動作フォームを撮影し、動画を確認することで、考察する力や自己調整力を育てています。また、授業で使用するワークシートや資料、必要な情報のインターネット検索、授業後の板書を写真で記録する等、様々な場面でiPadを活用しています。

道徳科の授業では教科書に加えて、iPad やホワイトボードを組み合わせ て活用することで、より深く主体的に学べるようになりました。

### 福生二小

様々な授業場面でiPadを活用しています。

3年社会科「福生市ではたらく人びととわたしたちの暮らし」のハム工場についての学習では、児童はハムの製造工程を学びます。その際、担任が児童全員のiPadにハムの製造工程の写真を、わざとバラバラに送信します。児童はそれぞれの写真の内容についてiPadを操作しながら比較・分析して、正しい工程に並べ替え、iPadを使って情報交換します。

右の写真は理科の実験の場面です。実験の様子をiPadで動画撮影して保存し、前回の結果と比較したり、友達同士で比べ合ったりしました。その結果、物質の変化の様子について、一人一人の実態に応じて主体的に学習できるようになりました。



iPadを使った情報交換。クラス のみんなの意見が一望できる



理科の授業で、実験結果を比較し 検証する場面

### 福生三小

三小では今年度、「ICT 機器の活用～子供たちが楽しく学ぶために～」という研究主題のもと、iPadの活用に取り組んでいます。児童に確かな学力を身に付けさせていくために、ICT機器をどのような場面で、どのように活用していくことが有効であるのかを教員全員が日々試行錯誤しながら、研究をしています。

また、児童の学びを深めるために、新しいアプリケーションを導入した実践も積み重ねています。

写真は総合的な学習の時間に、パワーポイントを使って、グループでスライドを作成しているところです。みんなで協力しながら活動しています。



総合的な学習の時間に、グループでスライドを作成している様子

先を見通す  
教育委員会委員 渡辺浩行



本市では国のGIGAスクール構想が公表される前の平成30年当時から、ICTの有効性について議論してまいりました。私としてはすぐにでも児童・生徒に一人一台のタブレットを貸与したいと考え、総合教育会議等で要望し続け、令和3年1月に配備が完了しました。現在、子供たちは「いつでも、どこでも、何回でも」iPadを自由に使っています。

ところで先日、福生市地域懇談会を傍聴いたしました。そこでは千葉大学大学院倉阪研究室のシミュレーション「未来カルテ2050」で想定した、2050年の福生市について紹介されていました。驚いたことには、小学校で740人、中学校では288人と、大幅に児童・生徒数が減少するという予測でした。福生市の推計とは異なりませんが、数字だけ見ると小学校は2校、中学校は1校で十分な配置となります。大切なことは、先を見通して、今何をすべきなのか考えてみるということです。定例教育委員会では、子どもたちや市民のために様々な議案について協議し検討していますが、今後は特に学区の在り方や少子化による学校の統廃合などについても、少しずつ議論をしていく必要があると感じています。

教育委員会委員コラム